

令和7年度 松茂中学校「学校経営方針」

1 学校教育目標

人権を重んじ、自主、自律、創造、責任、奉仕の精神に富み、
知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい人間を育成する。

2 校 訓

自主・責任・勤労

3 学校教育方針

- (1)豊かな心や健やかな体、確かな学力の育成をめざし、未来を生き抜く力を育む教育に努める。
(学習指導の改善・生徒指導の徹底・進路指導の充実・体育、保健、安全指導の充実)
- (2)人権尊重の精神に徹し、自他の生命や互いの人権を尊重できる教育を徹底する。
(人権教育・道徳教育の推進)
- (3)様々な出会いと社会や人とのつながりの中から、自らが進むべき道を追求する生徒を育成するキャリア教育を推進する。(松茂型キャリア教育の推進・STEAM教育の導入)
- (4)学校を核とした地域防災力の向上に向けて、災害を迎え撃つ防災教育を推進する。
(安全教育、防災教育の推進)
- (5)特別支援教育を推進し、生徒の実態に即したきめ細かい教育活動を実践する。
(特別支援教育の充実)
- (6)ふるさと「松茂」や母校を愛する心を持ち、世界で活躍できる生徒の育成に努める。
(国際化、情報化に対応し、持続可能な社会を創生する教育の推進)
- (7)松茂町コミュニティスクールの本部校として、家庭・地域・幼小中・関係諸機関との連携を強化し、開かれた学校作りに努める。(社会に開かれた教育課程の実現)

4 めざす学校像

- (1)創造的な知性を磨く学校。
- (2)強健な身体を鍛える学校。
- (3)情熱的な意志を鍛える学校。
- (4)人権を重んじ、敬和奉仕の心に生きる学校。
- (5)郷土を愛し郷土につくす学校。

5 めざす教職員像

- (1)生徒一人ひとりの自己実現に向けて、生徒に寄り添い、ともに歩める教職員。
- (2)教育者としての専門性を磨き、自己を高めようと学び続ける教職員。(授業力の向上)
- (3)「しっかり見て、しっかり聞く」「しっかり褒めて、しっかり叱る」ことができる温かさと厳しさを併せ持ち、生徒・保護者・地域から信頼される教職員。
- (4)チームの一員としての自覚と教育公務員としての責務を忘れない教職員。
- (5)建設的な意見がボトムアップできる教職員

※ 生徒からみて「大人のモデル」である教職員

↑毎日の授業・生徒とのかかわりから信用が生まれそれが信頼になる。

6 めざす生徒像

- (1)礼儀正しく、きまりを守り、正しく生きる生徒。
- (2)自他の生命を尊重し、人権を重んじ助け合う生徒。
- (3)創造的な知性を磨く生徒。
- (4)体を鍛えよく働く生徒。
- (5)郷土を愛し、地域社会に奉仕できる生徒。

7 今年度の重点目標(目標管理シート)

自立し、周りと協働することで、未来の社会に貢献する生徒の育成

～生徒指導を基盤とした学級経営・学年経営を行い、主体的で対話的な深い学びを実践～

- (1)自分の良さを知り、何事にもひたむきに努力できる生徒の育成
- (2)周りの人の長所を認め、エンパワメントする生徒の育成
- (3)将来の理想の姿を思い描き、その実現に向けて自ら学ぶ生徒の育成
- (4)多面的に物事を深く考え、周りと協働して何かに挑戦し修正しながら学ぶ生徒の育成
- (5)保護者や地域の支えの中で、今の自分があることに感謝の心が持てる生徒の育成

8 重点目標の実現に向けて(具体的実践内容)

自立し、周りと協働し未来の社会に貢献する生徒の育成とは

- (1)生徒の中にある能力を引き出すとともに、周りとかかわれる生徒を育成する。

(エンパワメント)

(人や社会とのかかわり)

- (2)ルールとリレーションづくり

→規範意識の確立と生徒間・教師・生徒間の信頼関係の構築

→身近な存在である教職員が「生き方モデル」となる。

「率先垂範・コンプライアンス意識の高揚」

- (3)「主体的・対話的で深い学び」の実践・教科横断的学びの意識→STEAM教育へつなげる

→「聴くこと」を習慣化させ、相手の発言の趣旨を正確に捉えられる力をつける。

→課題解決的な学習・ICTの有効活用

→周りの意見を尊重し、話し合い・対話から納得解をつくり実行する(協働の体験)

→教科横断的な学びを教職員が意識をする。

→家庭学習の習慣化と充実(個別最適な学習を目指す)

(各生徒が設定した目標点数に近い点数が取れるようアドバイス)

- (4)自己肯定感を高めるために、居場所と出番を作り、賞賛と承認を繰り返す。

→「生徒観察・良情報の共有・組織的なボイスシャワー・成功体験」

(ポジティブ・フォーカス)

- (5)生徒一人ひとりが、夢や具体的な目標をもち、なりたい自分を描き、その実現をめざす。

→「ゆめ・ミライ実現シート(松茂キャリア・パスポート)」・「藍空(日記)」の有効活用

→「松茂ゆめ・ミライ塾」の計画的な開催により学校と生徒の課題解消をはかる。

- (6)人権教育・道徳教育の充実を図り、心づくり教育を継続的に進める。

→「自他の人権を守る実践力を身につける人権学習・考え議論する道徳を実践」

- (7)生徒・教職員・保護者・地域が「誇りと魅力」を感じる学校づくりを進める。

→生徒会が主体となって活動する「松茂中プライド・プロジェクト」の推進

- (8)教職員自身のキャリア形成で(1)～(8)と同様の取り組みにチャレンジできているか。